



新宿区立落合第四小学校（地域協働学校校）

平成 29 年 10 月 26 日

運 営 協 議 会 だ よ り

第 7 号

代表 二上 映子 校長 本間 基史

平成 29 年度第 3 回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要を報告します。

■日 時 平成 29 年 10 月 26 日（木） 午後 3 時 30 分から午後 4 時 45 分

■場 所 落合第四小学校 会議室

■司 会 副校長 中村 理明

出席者

二上 映子（代表）、浅見美恵子、鈴木 勇、浦上 航、山下美也子、海東和貴、米谷 健彦
本間 基史（校長）、中村 理明（副校長）、中里 満晴（教務主幹）

議 事

1) 代表挨拶

皆様お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。地域協働学校運営協議会も 7 回を数え、活動が非常に充実していると思います。また、地域の皆様からお褒めの言葉を頂いています。

先日、浅見委員といっしょに 3 年生の教室に「高齢者との交流」事業に参加させていただき、とっても上手な字で書かれたお礼のお手紙を頂きました。とてもしっかりしたお子さんたちだなと感心致しました。元気をたくさん頂きましたし、現在の教育の様子を知るととてもいい機会ともなりました。家庭教育の力、また地域の力についても考えさせられました。地域の力についてはまた皆様のご協力をいただきながら事業を進めて行ければと思います。本日もどうぞよろしくお願い致します。

2) 校長挨拶

皆様こんにちは。先日の学校公開では「おちよんカフェ」にご協力いただき有難うございました。保護者からのアンケートでもとても好評でした。このアンケートでは、本校が進めている教育についてもいろいろなご意見を頂いております。本校が目指している教育、ICTを活用した授業の様子などについて評価して頂けたのかなと感じております。

先日の台風の際の対応についてですが、新宿区では小・中学校一斉での対応を行いました。幼稚園は定刻通りのスタートでしたが、小・中は 2 時限目よりのスタートということで、前日土曜日に教育委員会から連絡が来ましたので、一斉メールで保護者にお知らせいたしました。

本日は学校評価についてお話させていただく予定です。どうぞよろしくお願い致します。

3) 学芸会について（村井先生）

今年は「開校 85 周年記念学芸会」ということで、配布のプログラムのような演目にて各学年準備を進めております。すでに練習も始まっておりまして、大道具や小道具なども、休み時間や放課後も使い頑張って制作しております。裏面の「会場について」ですが、昨年度の音楽会では「おちよんパドレス」の皆様大変ご尽力いただきました。会場内の交通整理などのお声がけなど、とても助かりました。本年度もご協力いただけるということで、非常にありがたく思っております。今年度は学芸会ということで、子どもたちの出入りも非常に多く道具類も多いため、椅子の数を減らし、「思いやりシートゾーン」「マットゾーン（当該学年保護者優先席）」を設けさせていただきました。最後列はビデオ撮影ゾーンを設定し、座席からの撮影をご遠慮いただくという形にする予定です。（撮影しやすいよう高低差を付ける台の手配をしています）

4) 学校評価について

配布した資料（様式 1）ですが、学校評価についての評価項目、重点目標ごとに対応して、10 月までの取り組みについて記述しております。主な項目についてお話させていただきたいと思います。1 枚目、ICT についてですが、今学期よりタブレットパソコンが導入され、これを用いた授業が多くなってきました。教師がどのように授業に活用してゆくか、また子供たちにどのように使わせていくかということが大きく昨年度と変わっております。2 枚目、昨年度までは 4～6 年生で実施していた「hyper-QU」を、今年度は 1～3 年生でも実施するという記事を記載させていただきました。3 枚目では「読書活動の推進」ということで、2 学期の読書月間の取り組みについてです。一人 3 冊の

貸し出しを行い、10月の貸し出し冊数が非常に伸びているところです。最後5枚目ですが、今年度は85周年集会の開催に伴い、地域の方に参加していただく機会を持ちました。先日は昔遊びの会で地域の方と昔遊びをして交流しました。樹木プレートを作るという委員会活動にも地域のご協力をいただき、地域・家庭との連携が多くなってきていると感じました。

(委員より)

- ・ミドルリーダー、中間層が育っていきにくいということを以前の校長からお話し頂いたように思う。

現状どうなっているか。

→本校では新人育成とある程度(10年以上)経験があるものとそれぞれの研修スタイルが異なります。ミドルリーダーは10年以上の経験を積んでいる、主任以上ということです。生活指導、学習指導について、どのような課題があるか、またどのようにしたら全校の取り組みとしてやっていくと解決につながっていくかということを話し合ってきたところです。その、全体を見てという方がミドルリーダー研修の方で、新人の方は自分の課題として授業の進め方や子供との接し方を中心に考えてゆきます。お互いが良い影響を及ぼしているものと思います。ミドルリーダーと若手がセットになって学んで行くようになっている。

→学習指導において、ミドルリーダー以上の教員が若手に指導を行い、よい授業を作って行ける。また若手教員は、ICTを授業に活用し、いままで手作業でやっていたこと(たとえば意見の選択、集約、提出、開示)などがタブレット上だと一瞬で行える。そのような有効な使い方をペアで学ぶことによって教員同士の授業改善にもつながる。

- ・「学校支援アドバイザー」から得たアドバイスなどはどのような傾向がありましたか。

→算数の少人数クラスでの指導の際、算数が得意な子ども、ゆっくり丁寧に進めていく子供、いろいろですが、得意な子どもたちは先取り学習をしてまして、お互いが知ってることを言い合ったりする。活発ではあるのですが、言いつけなしで互いの学びにつながってゆかない。それをどのようにつなげて行ったり、あいての良さを認めて行ったりして自分の中に取り入れてゆくかというのが、先生の中にも上手な人、これから学んでいく人とあります。お互いに学びあおうというのが内容でした。

- ・先生方が様々な雑務に時間を取られ、本来の教育活動に時間を割けていないということがあるのではないかな。

- ・本校は地域との連携が強いと思うが、家庭との連携についてはどうか。取り組みについて聞きたい

→例えば生活指導面で課題を抱えている児童がいたとする。できるだけ学校で解決してゆくが、どうしても家庭と連携を取らねばならないこともある。またいわゆる宿題、家庭学習について、できる子とフォローアップの必要がある子という。家庭学習については家庭と連携しながら進めてゆくようになる。

- ・地域との連携、ライフ・ワークバランスについてもさらに考えてゆきたい

- ・「hyper-QU」について、低学年向けには今年度は特別に予算を取って実施している。(今までは4～6年生に実施)本校独自のもの。

- ・配布資料D、MIMについて。読み取り学習の不得意な分野を測定することができる。

5) 読書支援活動について

先月提案させていただいた通り、週二回開催のうち、第一・第二図書室の開催を半々にして今月実施してみた。実施してみると子どもから逆の曜日での実施を希望する意見があったりもしたので、12月から変更するかどうか検討中。11月よりひろばの終了時間が繰り上げられるのに合わせ、図書室開放も16:45終了に繰り上げる予定。

6) 情報交換等

「新宿区教育ビジョン」について、新しい学習指導要領の実施に合わせて内容を見直したものを素案として提出されている。これについて区民から意見を求めているパブリックコメントが実施されている。またこれに伴い地域説明会も開催される予定(配布資料C参照)

- ・隣接民家の解体工事が開始している。安全対策についてお手紙配布している(配布資料E)

7) 事務連絡

*次回 第8回 落四小地域協働学校運営協議会は
11月16日(木) 午後3時30分から 本校会議室にて開催予定